



IEEE Digital Privacy Model の紹介

デジタル世界でプライバシーに配慮した環境づくりを推進する活動

個人を中心としたデータ社会へと移行

データはデジタルエコシステムの重要要素

- 新領域技術の発達によって私たちの個人データを取得する機会が大幅に増加
- クラウドインフラの普及によって、産業横断型のデータ取得が拡大
- 個人データを活用することが様々な分野でこれからのプロダクトのデファクト
- データ提供者である個人がデータ生成過程を理解し、見える化することは非常に困難

国ごとにプライバシーに関する期待値や考え方が異なる

- 技術者やプライバシー専門家は個人が期待するプライバシーを分かり易く表した仕組みが必要である
- 全ての組織 (民間企業や政府組織) が個人が期待するプライバシーを分かり易く表した共通の仕組みを利用することが必要である
- 個人データを利用する場合は、国ごとに異なる個人が求めるプライバシー水準を満たして活動を行うことが必要である

プライバシーの期待水準

6つの要素

IEEE デジタルプライバシーモデル (DPM)

プライバシーの期待水準 (EOP)

- ❑ IEEE デジタルプライバシーモデル(DPM) は個人が期待するプライバシー水準を一般的に記したモデルである。
- ❑ 個人が期待するプライバシー水準は以下の6つの要素によって整理される。
 - アイデンティティ
 - 行動
 - 推論
 - 取引
 - 秘匿と統合
 - アクセスと観察



IEEE デジタルプライバシーモデル (DPM)

プライバシーの期待水準 (EOP)

秘匿と統合 と アクセスと観察

については個人の**アイデンティティ**
行動、推論に加えて**取引**データ及び
メタデータを整理し個人の**プライバシー**
の**期待水準**を整理するために実施する。



EXPECTATIONS OF PRIVACY

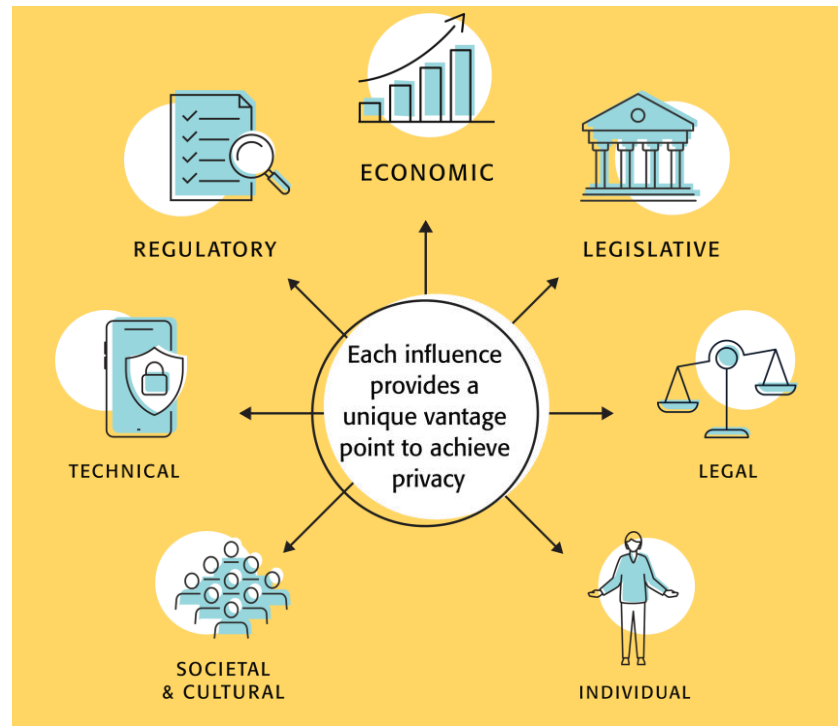
プライバシーに対する影響

7つの影響要素

IEEE デジタルプライバシーモデル (DPM)

プライバシーに対する影響 (IOP)

- IEEE デジタルプライバシーモデルではデジタルプライバシー保護環境が与える影響を環境や地域ごとに整理している。
- プライバシーによる影響範囲として下記の要素に分類している:
 - 技術
 - 規制
 - 経済
 - 制度
 - 法律
 - 個人
 - 社会及び文化



IEEE デジタルプライバシーモデル (DPM)

プライバシーに対する影響 (IOP)

技術的要素
規制的要素
経済的要素
制度的要素
法律的要素
個人的要素と社会及び文化的要素
によってデジタル空間で実現する
プライバシーの期待水準全体が変化することになる。



INFLUENCES ON PRIVACY



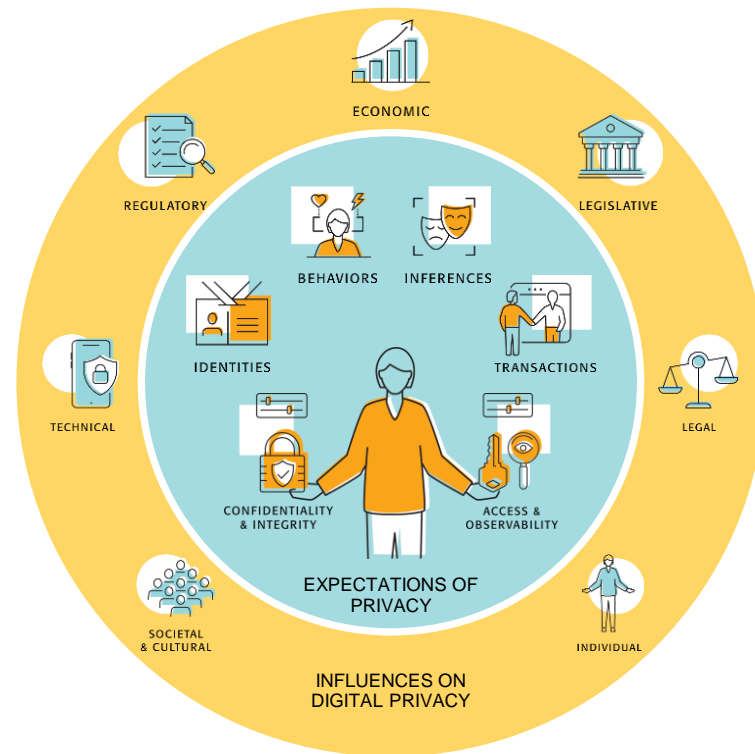
デジタルプライバシーモデル

個人の期待値からより広い視点でのデジタルプライバシーモデル
の設計

IEEE デジタルプライバシーモデル (DPM)

IEEE-デジタルプライバシーモデル

- IEEE デジタルプライバシーモデルはプライバシーへの期待水準にどのような影響があるのかを整理している。
- デジタルプライバシーモデル:
 - 個人のプライバシーへの期待水準に焦点を当てる
 - 必要なプライバシーソリューションについて広い視点で検討を行う
 - 技術者やプライバシー専門家が個人の期待値を元により具体的に対策を実施できるようにする



影響範囲によってデジタル空間で実現する
プライバシーの期待水準が変わってくる

IEEE デジタルプライバシーモデル (DPM)

IEEE-デジタルプライバシーモデル

- ✓ デジタルプライバシーモデルに関する詳しい情報はIEEE Digital Privacy Initiative へお問い合わせください
- ✓ モデル設計の議論にご参加ください
- ✓ より広い観点を元に議論を行います

皆様からの意見を楽しみにしています！
一緒にデジタルプライバシーモデルについて考えていきましょう！



Visit us at digitalprivacy.ieee.org

Contact us digitalprivacyinfo@ieee.org